

島の一日を彩る空気屋さんに、2回にわたってお話を伺いました♪

## ~想いをつなぐ結いメディア~

ウガミンショヘラ（こんにちは／島の方言）

奄美大島で、ライブハウスとラジオ局を運営している麓（ふもと）と申します。

私の仕事は「音楽」と「放送」という音波・電波を伝つて、島という磁場の一日を彩る空気屋のようなものです。日々、シマ唄、島口（方言）、島の歴史、文化、島の生活情報をお届けしています。

さて、島のニュースです。昨年奄美群島は、国定公園からの国立公園となりました。これまでの生態系管理型に加えて、「環境文化型」という在り方らしいですよ。

日本では明治時代に入り、欧米より「自然」や「社会」という言葉や概念がもたらせられたそうです。ここでの「自然」は、人と自然の世界が区別され、「社会」は、今を生きる人々の世界、というのが主となる捉え方のようです。一方、かつて日本でいう「自然」とは私たち人間もその自然の一部であり、「社会」は亡くなつた先人たちの価値観や教えさえも、今に作用する世界、という概念の中で暮らしを営んでいました。

もちろん今の時代でも特に日本の地方や里山、集落などでは、かつての自然観・社会観が残されているわけですが、まさしく、この度の奄美群島国立公園のテーマ「環境文化型」とは、自然と人が共存し、一元的世界の中で文化が育まれ、守られ、次世代へと守り、つながっていく在り方としてそれと等しいところです。

かつての暮らしでは、自然に対し畏敬の念を抱きつつ、山の幸、海の幸を自分たちが食す分だけを感謝と共に頂きながら、またそれが再生され、循環を生む環境。その営みの中で唄や踊りが湧き、教えや心、その文化が次世代へと連綿と繋ぎ紡がれてきました。

現在、奄美と琉球は共に世界自然遺産登録への道のりを島時間ではありますが、着々と歩んでいます。奄美空港に降り立つと、掲示されているある看板には、「自然と人が還る島。」「先人より、祈り、守り、語りつぎゅんくとう。」というメッセージを私たちへと伝えてくれています。奄美へ訪れる人々がふと漏らす一声に「初めてきたのに懐かしい。」というフレーズがこぼれてきます。日本人のDNAの琴線に触れる何かがここには、残されているのでしょうか。

さて、私が携わる「音楽」と「放送」というメディアの仕事ですが、そもそも「メディア」とは、ミディアム（MEDIUM）が語源で、中間にあるもの。間に取り入つて媒介するもの。という意味です。と、考えると私たち人間自身も「想い」を人へとつなぎ、「場」という空間をつなぎ、「世代」という時間をつなぐ、メディアと言えるかもしれませんね。

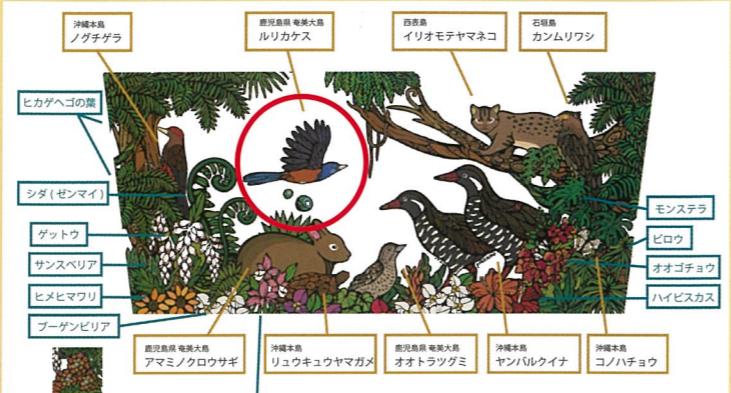
そして、この私たちを運ぶ機体自体も、人というメディアを乗せて、どこかの誰かへ、想いをつなぐ、結いメディアなんでしょうね。さあ、みなさま「ONAIR」ど～！

麓 憲吾（ふもと けんご）

1971年、奄美市名瀬生まれ。次世代に「地元で生まれ育ったことに自信と誇りを持ってもらいたい」と奄美大島で活動中。ライブハウス兼レストランバー「ROAD HOUSE ASIVI」の経営、イベント企画・制作、コミュニティFM「あまみエフエム ディ!ウェイヴ」の運営など、島の空気を通じた活動に情熱を注いでいる。



## ～表紙クイズの答え～



ルリカケスは光沢のある青紫色と赤褐色の羽を持つ鹿児島県の鳥で、奄美大島、加計呂麻島、請島に住む固有種です。国指定天然記念物に登録されています。



JACのイメージキャラクターのルリーもこのルリカケスをモチーフにしているんだよ!

奄美群島にはルリカケスの他にも、アマミノクロウサギ、大トラツグミなど希少野生動植物が生息・生育しており、豊かな自然と共に存しています。



目指せ!!  
奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島  
世界自然遺産



お散歩バックは2種類のデザインからお選びいただけます♪



天候等の理由でベルトサインが消灯しない場合は、販売を行えないことがありますのであらかじめご了承ください。

商品(お散歩バック)に関するお問い合わせ先:(株)JAL JTAセールス  
電話番号:098-858-4611 時間:9:00~12:00/ 13:00~18:00

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

Vol.7

# JAC NOW ~ゆいタイム~



## クイズ: ルリカケスはどれかな?

お手にとってください、ありがとうございます。

JACの今をお届けしようと、社員手作りの機内情報誌を発行しており、今回、第7回目の発行となりました。お客さまとつながる“結い”的時間を、そして、地域航空として各地域を“結ぶ”情報をお届けしたいという想いを込めて、ゆいタイムと名付けております。みなさまとのまたとない空の上の今日の出逢いを、ゆい“唯”タイムを通じて、優しく心つながる時間としてお過ごしいただけましたら幸いです。

ご意見、ご感想、お気づきの点などございましたら、どうぞお気軽に、客室乗務員までお寄せください。

また、バックナンバー(vol.1~6)をご覧になりたい方も、どうぞお気軽に客室乗務員までお声掛けください。

JAC  
日本エアコミューター

みなさまへ

皆さま、本日もJAC便にご搭乗くださり、ありがとうございます。

今回は私の「旅のお供」についてご紹介いたします。実は、私には出張や旅行の際に必ず携行するものが2つあります。それは、電子書籍端末(kindle)とポータブル音楽プレーヤー(iPod touch)です。

私の電子書籍端末には、読みたい電子書籍が常に数冊ダウンロードされています。便利な機能として、必要な電子書籍をインターネット接続により直接その場で購入できます。また辞書が内蔵されていますので、文中の難しい語句について読み方や意味を調べながら、読書を楽しむことができます。ポータブル音楽プレーヤーは、既に10年近く愛用しその時々の懐かしい音楽を含め、百数十枚のCDが格納されており、様々なジャンルの音楽を楽しむことができます。

私が気に入っている理由はコンパクトで持ち運びが容易な大きさであることと、いつでもどこでも音楽を聴いたり気軽に読書を楽しめる点です。私の「旅のお供」は少々大きさですが、私に安らぎと寛ぎ、そして新たな鋭気を与えてくれる大事な存在です。

本日ご搭乗の皆さんもそれぞれお好きな「旅のお供」とともに、ご旅行先、ご移動先での旅のひと時をお楽しみください。

日本エアコミューター株式会社  
代表取締役社長 加藤 洋樹



「月に一番近い島」種子島でロングライド!



種子島は鹿児島県大隅諸島に属し、南北58km、東西最大12kmと細長い種子に似た形をしています。標高は最高点でも282mしかなく、平らな島で年平均摂氏20°C近くあり、総じて気温の温度差が小さいのが特徴です。

今年9月9日(日)、この種子島で初めて島内を一周する「ジロ・デ・種子島」を開催することとなりました。イタリアの「ジロ・デ・イタリア」、スペインの「ブエルタ・ア・エスパニョーラ」、フランスの「ツール・ド・フランス」の3大会を総称した世界最高峰の自転車レース「グランツール」は有名ですが、グランツールのような何日もかけて国内を一周するとしても過酷なレースとは異なり、「ジロ・デ・種子島」はアップダウンの少ない(島内一周コースで高低差約136m)なだらかなコースで、タイムレースではありません。レースは島一周(150km)の部、島半周(75km)の部を設けています。青い海や白い砂浜、波で浸食された奇岩などの大自然やサトウキビ畑、世界一美しいロケット発射場の景観美を堪能しながら「月にいちばん近い島」種子島を1周するロングライドに挑戦してみませんか?

多くの皆さまのご来島をお待ちしております。

経営企画部 宮原 千鶴

ジロ・デ・種子島大会公式HPのURLはコチラ<<http://girodi-tanegashima.com/>>

# 空の上の航空教室

今日は楽しい  
ドライブの日！

NO.7

